

経営比較分析表（平成29年度決算）

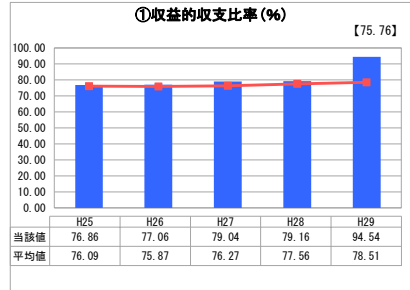
石川県 七尾市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	5.00	3,322	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
53,927	318.29	169.43
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
2,669	46.78	57.05

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



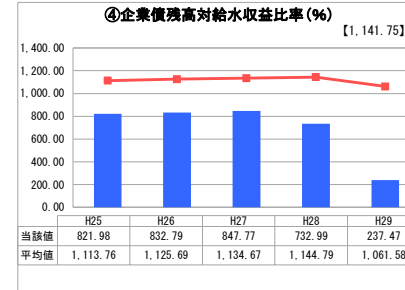
「単年度の収支」



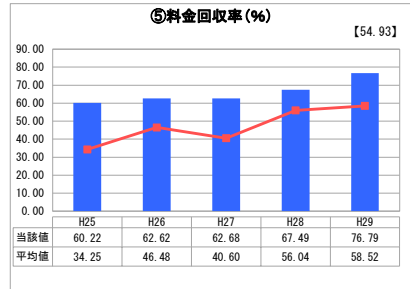
「累積欠損」



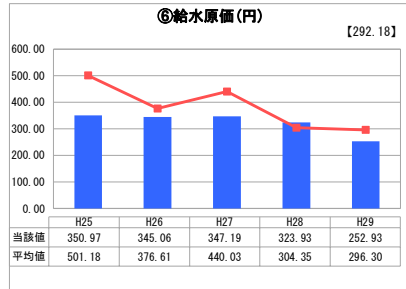
「支払能力」



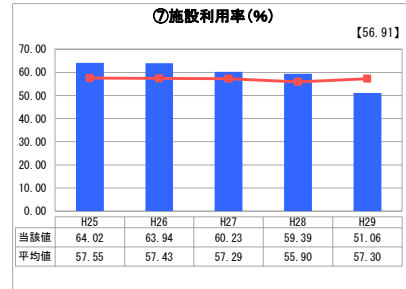
「債務残高」



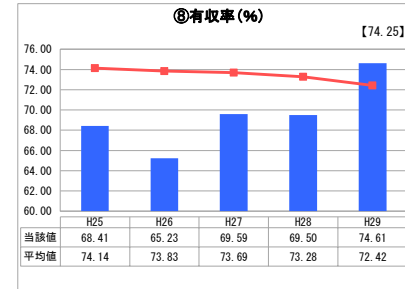
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

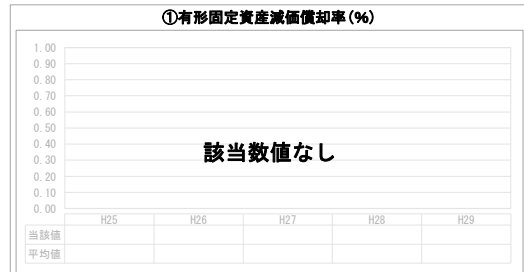


「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

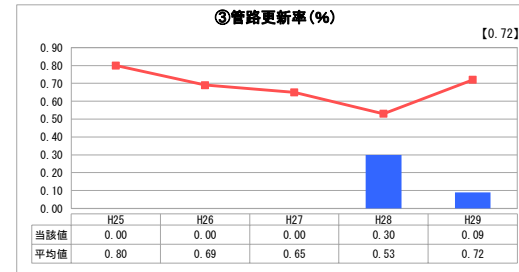
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成29年7月から熊淵・小川内地区が上水道へ統合、平成30年4月から能登島地区が上水道へ統合となり、平成29年度末をもって簡易水道は上水道へ完全統合となる。

簡易水道再編推進事業により統合整備を行った熊淵・小川内地区が、上水道へ統合したため、費用や地方債償還金が減り、①収益的収支比率は、例年に比べ100%に近い数値まで上昇。地方債残高の減少により、④企業債残高対給水収益比率は、大幅に下がった。

また、費用と償還金が減ったことにより、⑥給水原価が下がり、⑤料金回収率は、上昇した。⑦施設利用率は、平均値を下回ったが、夏季や冬季の一日最大配水量/配水能力と併せて施設の適正規模を判断していかなければならない。⑧有収率は、有収水量が増加したことにより、上昇し、平均値を上回った。

平成29年度は、概ね良好な数値といえるが、上水道へ統合後、管路・施設の更新や修繕が必要となるため、経営の健全性・効率性の確保に努めていかなければならない。

2. 老朽化の状況について

管路については、一部を除き、耐用年数を超えていないため更新率は低い状況であるが、計画的に管路の更新を行っていく必要があり、上水道統合後の平成30年度から老朽管路及び施設の更新を行う計画である。

全体総括

平成22年度から簡易水道再編推進事業により上水道への統合を順次行っており、維持管理の一元化、経営の安定化を図っているところである。平成30年度からは上水道へ完全統合し、施設及び管路について、計画的に更新を行っていく。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の実績数を基に類似団体平均値を算出しています。